

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日 令和6年 7月 20日

公表日 令和6年 7月 23日

事業所名 こころば

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		行事や時間帯によって過密状態になってしまったため活動内容を分散しています。	利用定員としては適切であるが、行事等により児童が過密し十分なスペースの確保が難しいことがあるため、可能な限り集中する時間の活動人数を分けて行っていく。
	2 職員の配置数は適切である	6	1	児童が多い時間帯には職員の人数を増やし対応しています。	利用児童に対し、良い支援を行うため職員の定着率を高め育成します。送迎時、職員の確保に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		設計段階で限りなく段差を無くし、常に職員が見守る中で安全確保し、活動を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	3	職員全体でミーティングを行い業務内容の確認、改善に繋がるよう話し合いの場を設けています。	今後も職員全体で話し合いを行い、業務改善策について検討致します。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	初回のため今後行っていきます。	保護者様から頂いたご意見を基により良い支援ができるよう努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	初回のため今後HPにて自己評価表の公開を行っていきます。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	第三者による外部評価は実施できておりませんが、相談支援専門員や他の事業所の方の意見を聞き業務改善に繋げています。	第三者評価は実施致しておりませんが、第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		研修の機会を確保し、積極的に受講しています。	事業所内研修を行い、必要に応じて外部研修にも参加し、職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	3	定期的にあセスメントを行い、利用児童の状況や保護者様の意向を踏まえ適切に支援計画を作成しています。	アセスメントを適切に行い、利用児童及び保護者様の立場に立って支援計画を作成致します。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		HUGシステム内のアセスメントシートを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2	児童発達支援ガイドラインを基に利用児童の状況や課題、保護者様の意向から必要な支援内容を組み合わせ、計画を立案しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2	利用児童の支援計画を職員が把握し、共通の認識を持って支援を心掛けています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	プログラムが固定化しないように季節行事を取り入れながら利用児童が楽しく様々な経験ができるよう工夫しています。	様々な体験を楽しく積み重ね、将来必要となる力を養えるように活動プログラムを立案します。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7		利用児童の発達段階に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	個別活動と集団活動をバランス良く組み合わせ、より良い支援ができるように支援計画を作成致します。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	毎朝のミーティングにて当日の流れ、支援内容、役割分担、送迎確認を行い、その都度確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	支援終了後は送迎等で職員間の打ち合わせが難しい場合がありますが、支援中に気づいた点等は職員間で情報共有をしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	業務日報、HUGサービス提供記録、連絡帳において日々気づいた点、当日の様子・変化等を記録し、その都度職員間での連携・情報共有を行っています。	
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1	定期的なモニタリングを実施し、保護者様と利用児童の現況把握、振り返りを行ったうえで見直しを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達支援管理責任者もしくは支援担当者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	必要に応じて連携をしています。	関係機関との連携を図り、より良い支援ができるように努めていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療ケアの必要な児童が通所していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、医療ケアの必要な児童が通所していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	その都度、必要に応じて情報共有と相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	その都度、必要に応じて情報共有と相互理解に努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	担当者会議で情報共有を行ったり、相談支援員を通して様子を伝えるなど連携を図っています。必要な研修は積極的に受講しています。	積極的に研修を受講し、専門機関と連携を図り、より充実した支援ができるように取り組んでいます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	オープンイベント開催する等、障がいのない子どもたちにも参加する機会を設けることを検討します。	様々なイベントを企画し、積極的に交流する機会を作ることを検討致します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	職員の配置を増やし、会議に参加する機会を増やしています。	積極的に研修や講義などに参加し、能力向上に努めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に口頭で伝えたり、HUG連絡にて情報共有しています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	送迎時に口頭で伝えたり、HUG連絡にて情報共有し、支援内容を理解していただき、協力していただける部分は取り組みをお願いしています。	今後も保護者様の悩みに寄り添う支援ができるように努めていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		ガイドラインが示す支援内容をふまえて保護者様の意向や児童の課題に合わせた計画を作成し、保護者様へ詳しく説明し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		定期的に利用児童の現況に応じて保護者様と面談し、悩みや相談に適切に対応するように心掛けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	現在、行っておりません。	保護者様のご意向に配慮しながら、保護者同士や職員との交流を検討致します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情や申し入れについては管理者を窓口決め、頂いた意見を職員に周知し、迅速かつ適切に対応するように心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	あらかじめ月間プログラムを配布し、HUG連絡やHPIにて活動概要を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		カギ付きの書庫、キャビネット内に保管しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	子どもの特性などを把握し、配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	オープンイベント開催する等、地域住民を招待する機会を設けることを検討します。	様々なイベントを企画し、積極的に交流する機会を作ることを検討致します。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	各マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施しています。	緊急時対応マニュアルなど保護者様も見える場所に設置します。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	火災・地震を想定した訓練を年3回以上、うち防犯訓練を含めた総合訓練を年2回以上実施しています。	訓練開催の曜日が偏らないように工夫し、定期的に利用児童と避難訓練を実施していきます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	その都度、保護者様から必要に応じて情報共有していただき、職員が把握するようにしています。	健康状態の情報を収集し、職員への周知を徹底し細心の注意を払い、事故のないように努めていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	アセスメントにて保護者様から必要に応じて情報共有していただき、職員が把握するようにしています。	詳細な情報をいただき、医師の指示書がある場合には職員への周知を徹底し細心の注意を払っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	事例が起こった際には速やかに報告書を作成し職員間で共有しています。	事例が発生しないよう注意し、万が一発生した場合には報告書を作成し、全職員で共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	虐待防止に関する外部研修を受講し、職員間で共有しています。	虐待防止に関する研修を受講し、職員間で周知、徹底していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		原則、身体拘束は行っていません。活動について利用児童の安全確保のための行動制限に関しては個別支援計画書の説明時、保護者様に説明しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。